

北九州マラソンでのボランティア活動

2月8日(日)、今年で2回目となる「北九州マラソン2015」が開催されました。当日は気温が低く、あいにくの天気でしたが、1万人を越えるランナーと沿道からの声援で、市内全体が熱く盛り上がる一日となりました。大会には安川電機陸上部OBをはじめ数多くの当社関係者や、北九州商工会議所会頭である利島特別顧問もランナーとして北九州の街を走り抜けました。

大会を支えるスタッフとしても、150名を超える当社関係者が給水ボランティアとして参加しました。当社担当ブースである第2給水ポイント(7.5キロ地点)では、全員がロゴ入りの青ジャンパーを着て、ランナーに盛大なエールを送り、大会を盛り上げました。昨年のボランティア経験者が作業手順や給水のコツを初参加の人にアドバイスするなど、参加者同士のつながりも深まったように感じました。また、参加者からは「楽しかった」「また参加したい」というような声も多く、今回の活動がボランティアを身近に感じる良い機会になったのではないかと思います。

今年の大会も、ランナーとボランティア、地元企業、そして北九州市民が一体となる、素晴らしい大会となりました。



● お問い合わせ先： 人事総務部 TEL 093-645-8801 FAX 093-631-8837



選手詳細情報は陸上部ホームページ「草魂」で公開中! <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>

当社陸上部にとって、もっとも重要視している全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)は18位という結果で終わりました。この大会に向けた取り組みを紹介します。

選手達は夏合宿などの成果を確認するために10月中旬、11月上旬とトラックレースの10000m、5000mに出場しました。このレースの結果からニューイヤー駅伝の九州地区予選となる九州実業団毎日駅伝の選手を選抜しました。

九州地区予選は、好調の選手が2名しかおらず、予選突破となる上位6チームに入ることは危ういのではないかと状況でした。このような中で、1区を任された好調の北島寿典選手が5km地点から飛び出し、後続を40秒離す見事な区間賞を獲得しました。続く2区の上り区間も好調の久保田大貴選手が区間賞に肉薄する走りでも2区。先頭の位置で社会人初駅伝となる松山雄太郎

選手にタスキを繋ぎました。スタミナに若干の不安が残る松山選手でしたが、下り区間を区間賞の走りでも4区エースの中本健太郎選手にタスキを繋ぎました。中本選手は区間2位ながら安定した走りでも先頭を堅持。予選突破すら危ぶまれた状況でしたが、「勢いに乗せる」見事な選手起用で4区まで後続を大きく引き離すことに成功し、見事3位でニューイヤー駅伝出場を達成しました。

12月7日には中本選手が福岡国際マラソンに出場。招待選手として注目されていましたが10月に体調のピークが来てしまい、30km以降に失速しました。結果12位でしたが、何とか持ち前の粘りを発揮して、2時間11分58秒でまとめました。

元日のニューイヤー駅伝では、1区久保田選手が先頭から17秒差という健闘で2区に繋ぎました。2、3区で29位まで順位を落としましたが、4区中本選手は福岡国際マラソンから一ヶ月も経たない中で疲労感も見せず、17位まで順位を押し上げました。5区黒木選手も14位まで順位を押し上げました。結果的に18位となりましたが、現状チームが持てる力は発揮できたのではないかと思います。

チーム一丸となって取り組んだニューイヤー駅伝が終わり、マラソン、ロードレース、春からのトラックレースへと個人レースによりよろしくお願いします。



全日本実業団駅伝のスタート前にチーム紹介される1区の久保田選手

◆ 2014年11月～2015年1月の主な戦績

日程	大会名	成績
11月23日	九州実業団毎日駅伝	4区まで独走し3位。2つの区間賞獲得
12月7日	福岡国際マラソン	中本選手12位
1月1日	全日本実業団対抗駅伝	1区の好走と4区以降の盛り返しで18位。